



「変えてはいけない憲法9条」市民交流会 開催 (7月29日)

杉井静子弁護士「9条改憲と私たちの生活」について語る

憲法講演会を兼ねた市民交流会が、中央公民館で開かれました。(30名参加) 弁護士の杉井静子さんに「9条改憲で私たちの生活をどう変えようとしているのか」をテーマに講演していただきました。



講演の中で、杉井弁護士は安倍9条改憲の中身の紹介とともに、改憲によって軍事優先の社会が生まれ、私たちの生活に大きな影響があること。例えば、教育、人づくり、家庭のあり方、女性の権利などの面から語っていただきました。

また、杉井弁護士は、安倍首相の計画どおりの速度で改憲作業が進んでいない(今通常国会での改憲発議を計画しながら、国会審議がほとんどできなかった)ことは、野党の共同の力と3000万人署名運動で示された市民の意思(1800万筆)が反映していることを強調されました。

最後に、杉井弁護士は、3000万人署名運動の成果をふまえて改憲阻止のための努力をさらに強める必要性を訴えました。

活発な意見交換

講演の後、質疑応答や意見交換が行われ、東大和市での道徳教科書採択をめぐる問題や署名活動を行ってきた感想など活発な話し合いができました。市民アクションの学習会に初めて参加した人も含めて、参加者一同で改憲阻止に向けて決意を固めあいました。



3000万人署名、9月末に 第4次集約を (7月22日) 全国市民アクションが声明

延長通常国会閉会日に「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」が声明を出しました。声明は「9・30第4次集約めざし 暑さをしのいで3000万人署名を進めましょう」と題したものです。

声明は、安倍自民党は今通常国会で改憲発議を予定していたが、私たちの運動が、これを阻んだということに確信をもち、しかし安倍首相が年内発議を断念していないことから、秋の臨時国会にむけて署名を集めようと呼びかけています。

署名が広がっています

全国1800万筆 多摩地区20万筆

憲法共同センターによれば、3000万人署名は全国で1800万筆がすでに集められているそうです。また、三多摩市民アクションの集計では三多摩地区全体で20万筆に到達しています。

その中で東大和は5,300筆を超えてあつめていますが、9月集計にむけて、より多くの署名の積み上げに頑張りましょう!

<3000万人署名行動>

- 8月19日(日) 16:00~17:00
ヤオコー東大和店前
- 8月29日(水) 17:00~18:00
東大和市駅前